



子どもたち対象に 災害時の避難所体験キャンプ

子どもたちを対象に、災害時の避難所生活を体験してもらおうと、「避難所体験キャンプ」が、3月1日、2日の一泊二日で、公民館で行われました。

東日本大震災の教訓から、子どもたちにも各種防災対策を学んでもらうため、教育委員会が実施しました。

参加したのは、小学1年から5年までの11人。災害時の町の避難所に指定している公民館の農事研修室に、段ボールを敷いて「寝床」を確保する体験から始めました。

停電や断水などの災害を想定し、空き缶でランタンを作ったり、湯を注ぐだけで食べることができるアルファ米を使った食事などを体験。「不便だった」「大変な一日だった。でも災害避難所のことが分かった」などと話し、一日を過ごしました。

町内第1号の 家族経営協定を調印

3戸の農家で

農業経営の方針などを家族で取り決める「家族経営協定」の調印式が、2月28日に町公民館で行われました。町農業担い手対策推進協議会（谷本茂樹会長）が主催し、柏丘の高城さん一家、高園の安西さん（諸橋さん）一家、西富の清井さん一家が、それぞれの協定書に調印しました。この協定は、農業経営の方針や労働時間、給与などの就業規則、家族の役割分担などの就業環境などを決め、家族仲良く、明るい農業経営を進める目的のもの。町内では、初めての協定となりました。



家族経営協定調印式



訓子府小学校6年の渡邊唯翔くん（西富）が、3月27日から30日まで、歌志内市のかもい岳スキー場で開かれた「JOCジュニアオリンピックカップ2014兼全日本ジュニアスキー選手権アルペン競技」に出場し、活躍しました。

渡邊くんは今シーズン、道内で開かれた全日本スキー連盟が主催する各種スキー大会に出場し、上位総合ポイントで北海道3位（10位まで全国大会に出場できる）となり、全国大会に出場しました。

3月19日に町長にあいさつに訪れた渡邊くんは、「全国優勝をめざします」と力強く話していました。

渡邊唯翔くん スキー全国大会出場



ウオッチング



保育園ひな祭り 歌や踊りを楽しそうに



桃の節句の3月3日に、くんねっぶ保育園でひな祭りの行事が行われました。ひな人形の前で、歌ったり、踊ったり、また、歌に合わせた人形劇を見るなどしてひな祭りを楽しみました。

卒園・卒業おめでとうございます

3月は卒業シーズン。町内では、訓子府高校で1日、訓子府中学校で14日、訓子府小学校で20日、居武士小学校で24日にそれぞれ卒業式が行われ、訓子府幼稚園では19日に卒園式が行われました。合わせて159人が卒業（卒園）しました。

卒業生（卒園児）に一人ずつ卒業（卒園）証書が手渡され、在校生（在園児）から贈る言葉や合唱などを受けました。

子どもたちは、先生や友達との思い出を振り返り、学び舎などを後にし、また、わが子の成長に感極まって涙を流す父母も見受けられました。



訓子府小学校



居武士小学校



訓子府幼稚園

大きな期待 胸に巣立つ



訓子府高校



訓子府中学校

「中学校でもがんばって」



居武士小学校



訓子府小学校

卒業式を控え、6年生を送る会が訓子府小学校で2月28日、居武士小学校で3月7日にそれぞれ開かれ、在校生と楽しいひとときを過ごしました。両小ともに、学校や卒業生にかかわるクイズ、合唱などが披露され、小学校生活の思い出づくりをしました。

卒業控え2小学校で 6年生を送る会